

# 入間基地にPAC3ミサイル配備

## 米軍のミサイル防衛（MD）に統合される自衛隊

埼玉県航空自衛隊入間基地に3月30日、PAC3ミサイルが配備されました。PAC3ミサイルは、他国から発射された弾道ミサイルを迎撃するもので、昨年10月に米空軍が嘉手納基地に配備したものと同型の最新兵器です。これまで航空自衛隊の基地には、敵の航空機を迎撃するためのPAC2ミサイルが配備されていましたが、PAC3ミサイルの配備は全国で初めてです。今後4年かけて、16セットが各地に配備されます。

日米両国は在日米軍再編の一環として、弾道ミサイル防衛（MD）を共同で進めることにしました。東京にある米空軍横田基地内に、ミサイル防衛のための「共同統合運用調整所」を設置することも合意しています。また入間基地へのPAC3ミサイル配備にあわせて3月23日の閣議で、他国から日本に対して弾道ミサイルが発射された場合には、部隊指揮官の判断で迎撃できる「緊急対処要領」を決定しました。

他国が日本に向けて弾道ミサイルを発射した場合、海上自衛隊のイージス艦が搭載するSM3ミサイルと、航空自衛隊のPAC3ミサイルが迎撃します。そのためには相手国のミサイル発射情報を、軍事衛星でいち早く知らなければなりません。ところが日本は軍事衛星を保有していないため、ミサイル発射情報は米国から提供を受けることになります。米国の軍事衛星の情報を元に、米軍の指揮下で、海・空自衛隊が迎撃ミサイルを発射するのです。

一方で自衛隊のイージス艦やレーダーが収集したミサイル情報も、米軍に提供します。弾道ミサイル攻撃を受ける可能性は、日本よりも米本土の方が高いでしょう。実際には、米本土に向かって発射されたミサイルを、自衛隊が米軍の下請けとして追跡することになるかもしれません。しかしいずれの場合も、憲法の禁じる集団的自衛権の行使にあたりません。

### PAC3ミサイルの配備計画

#### 06・07年度 関東地方 第1高射群

- 第4高射隊 入間基地 (埼玉県)
- 第1高射隊 習志野基地 (千葉県)
- 第2高射隊 武山基地 (神奈川県)
- 第3高射隊 霞ヶ浦基地 (茨城県)

#### 08年度 東海地方

- 高射教導隊 浜松基地 (静岡県)
- 第2術科学校 浜松基地 (静岡県)

#### 09年度 中部・近畿地方 第4高射群

- 第12高射隊 饗庭野基地 (滋賀県)
- 第13高射隊 岐阜基地 (岐阜県)
- 第14高射隊 白山基地 (三重県)
- 第15高射隊 岐阜基地 (岐阜県)

#### 10年度 九州地方 第2高射群

- 第5高射隊 芦屋基地 (福岡県)
- 第6高射隊 芦屋基地 (福岡県)
- 第7高射隊 築城基地 (福岡県)
- 第8高射隊 高良台基地 (福岡県)



●航空自衛隊が保有するPAC2ミサイル。  
PAC3も外見は同じです。

## ここが問題！PAC3ミサイル 購入は税金の無駄使い

### 1. 射程距離が短い

★PAC3の射程距離は15～20kmといわれています（正式なデータは発表されていません）。山手線の内側がようやく守れる範囲です。

### 2. 全部で16セット

★しかも、航空自衛隊が購入する予定は全部で16セット。首相官邸や中央官庁、自衛隊の主要基地、原発・・・と置いていくと、市民を守るには足りません。

### 3. 命中精度が低い

★さらに、米国専門家のレポートでは、PAC3の命中精度は50パーセント。（これも正式なデータは発表されていません）命中するのは2発に1発です。外した1発が核弾頭だったら・・・。

### 4. 破片は地上に落ちてくる

★仮に、50%の確率で敵の弾道ミサイルに命中す

ると、両方の破片が地上に落ちてきます。敵国が首相官邸を狙って弾道ミサイルを発射、20km手前で迎撃に成功すれば、その下の市街地に破片が落ちるのです。破片だけでも相当の破壊力です。生物・化学兵器が積まれていれば、命中と同時にばら撒かれ一体が汚染されます。核弾頭の場合は迎撃に成功すれば核爆発は起きませんが、放射能は降ってきます。

### 5. PAC3はWindowsと同じ

★PAC3を含めて、ミサイル防衛システムは開発の途上です。今後も頻繁にバージョン・アップが行われるでしょう。Windowsのパソコンと同じように、日本は次々と新しいバージョンのミサイルや関係装備を購入しなければなりません。一度導入をしてしまえば、性能もおぼつかないミサイルに、次から次へと税金を注ぐことになるのです。

## 埼玉県平和運動センターを先頭に入間基地に申し入れ

埼玉県平和運動センター・関東ブロック連絡会・平和フォーラムの3団体は入間基地に対して3月28日、PAC3の配備中止を求める申し入れを行ないました。社民党衆議院議員の日森文尋さんが仲介してくれました。

関東ブロック連絡会代表の浪江福治さんから自衛隊に対して、要請書を手渡しました。神奈川平和運動センター事務局長の加藤泉さんは、「神奈川の武山基地にも、PAC3配備が予定されている。この申し入れは、入間基地だけではなく、全国への配備中止を求めるものと理解してもらいたい」と話しました。東京平和運動センター事務局長の関久さんは、「発射する場合の指揮・運用はどうなっているのか」「敵のミ

サイルを迎撃した場合、その破片が周囲に落下し住民に被害がでると考えられるが、どう対処するのか」と質問しました。

航空自衛隊の担当者は、「皆様のご意見を基地司令にお伝えします」と述べるとともに、迎撃の指揮・運用については、「閣議決定に基づき今後防衛省が細則を定めることになる」、また破片落下については、「現在のところ、どのくらいの破片が、どのくらいの範囲で落下するかデータがありません。今後、海外での発射訓練などを通してデータを集めて対処を定めます」と応じました。



●3団体で航空自衛隊・入間基地に申し入れ。

## フォーラム平和・人権・環境

〒101-0062 千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館1階  
電話 03-5289-8222 FAX 03-5289-8223

★平和フォーラムのHP [www.peace-forum.com](http://www.peace-forum.com)

★STOP!!米軍・安保・自衛隊のHP

[www.peace-forum.com/mnforce/mnforce.html](http://www.peace-forum.com/mnforce/mnforce.html)

## 取扱い団体